

## 令和4年度（第3回）理事会議事録

佐賀県国民健康保険団体連合会

### 1 開催日時及び場所

令和4年11月28日（月）午後2時～午後2時55分  
佐賀県国保会館 特別会議室

### 2 出席役員名

副理事長	峰 達郎（唐津市長）
常務理事	原 節治（学識経験者）
理事	深浦 弘信（伊万里市長）
	松田 一也（基山町長）
	水川 一哉（大町町長）
	久保山善生（佐賀県健康福祉部長）
監事	橋本 康志（鳥栖市長）
	武廣 勇平（上峰町長）

### 3 議 題

- |        |   |
|--------|---|
| 第57号議案 | 佐賀県国民健康保険団体連合会職員の育児休業等に関する規程の一部を改正する規程について              |
| 第58号議案 | 佐賀県国民健康保険団体連合会短時間労働者の育児休業・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について     |
| 第59号議案 | 令和4年度佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計（業務勘定）補正予算               |
| 第60号議案 | 令和4年度佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計（公費負担医療に関する診療報酬支払勘定）補正予算 |
| 第61号議案 | 令和4年度佐賀県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業特別会計（業務勘定）補正予算              |
| 第62号議案 | 令和4年度佐賀県国民健康保険団体連合会財産の処分について                            |

### 4 議事の経過の要領及びその結果

理事8名中6名の理事の出席があり、定足数に達しているため、令和4年度（第3回）理事会が成立していることを報告した。

また、田島理事長が公務による欠席のため、峰副理事長が議長を務めた。

(副理事長挨拶)

- 本来であれば、田島理事長からご挨拶を申し上げていただくべきところであるが、本日も公務のために出席が叶わなかったため、副理事長である私の方からご挨拶を申し上げさせていただきます。
- 最近の国保の情勢を見ると、当面の最大の課題であった国保連合会の基幹システムである国保総合システムの機器更改経費について、令和4年度一般会計補正予算案として、11月8日に閣議決定がされたところである。これはひとえに、全国市長会、町村会と地方6団体のほか、厚生労働省保険局、関係者の皆様方のご尽力によるものである。補正予算の今臨時国会での成立を図るため、去る11月18日の「国保制度改善強化全国大会」に、田島理事長を始め、水川町長さん、武蔵町長さんにもご出席をいただいたほか、理事長には代表陳情を行っていただいた。
- この次期更改経費の目途がたった後は、クラウド化後の運用経費、こちらも高額となることが想定されているので、これをどう工面していくか試算しているところである。運用経費については、国庫補助は難しいことが想定されている。手数料で賄えない場合は、本会が保有している積立金を活用するなどの対応をまずは考えているところである。
- 一方、本県の国民健康保険は、令和9年度に県内の保険税率を一本化することを目指しており、保険者業務の集約や標準化、市町村事務処理標準システムの導入等についての協議が継続されているところである。連合会としても、今後とも、県、市町及び国保組合の皆様との連携を密にさせていただき、これまで以上に保険者の支援に努めてまいりたい所存である。
- 本日の理事会は、令和4年度の補正予算及び規程の一部改正、そして、令和5年度の予算編成及び事業計画の基本方針についてのご審議をお願いすることとしているので、どうぞ忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(議決事項)

- ・ 第57号議案及び第58号議案について事務局から提案説明があった。  
理事から、短時間労働者の育児休業・介護休業に関する質問があった。  
これに対し、事務局から説明を行った。  
その後、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
  
- ・ 第59号議案から第62号議案について事務局から提案説明があった。  
理事から、新型コロナウイルス感染症の自己負担に関する質問があった。  
これに対し、事務局から説明を行った。  
その後、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。